

トレーラーの位置特定

PALTEK
ドコマップJ

12月に新サービス開始

半導体製品販売のPALTEK（本社・横浜市、高橋忠仁社長）は12月にも、ドコマップジャ

パン（同・東京、浦嶋一裕社長）の車両位置情報管理システム「ドコマップ」を活用し、けん引さ

れていないトレーラーの位置を確認することができ、サービス「ドコマップトレーラー」を開始する。新サービスはトレーラーにPALTEK製の専用GPS端末を付け、パ



トレーラーに装着する専用の位置測位端末

ソコンやスマートフォン地図上で、位置を情報管理できるのが特長。トラクターはドコマップジャパンの小型GPS端末で動態管理できる。ドコマップジャパンの提供する小型GPS端末は、車両から電力を取っており、切り離して停止中のトレーラーの位置を管理することができなかった。PALTEKのGPS端末はバッテリーで駆動し、電力供給がない状態で1年程度は使うことが可能（PALTEK）。測位には準天頂衛星「みちびき」を利用し、一般的なGPSよりも高い精度で位置を検知する。

PALTEKは、港湾部に一時的に駐車されているトレーラー管理での活用を想定している。トレーラーは港内の指定された場所に駐車されているが、指定場所に駐車されていないケースもあり、トラクターがトレーラーを探することで輸送の遅れが発生する。

ドコマップトレーラーを利用することで、ドライバーは「docom a PVIEWW（ドコマップビュー）」を通じ、トレーラーを簡単に見つけることが可能となる。

（遠藤 俊）

媒体名:輸送経済新聞
掲載日:2021年7月13日号 P5

※なお本記事については、発行元：株式会社 輸送経済新聞社より許可を得て掲載しています。